

大会規定

中学部駅伝

1 健康管理・安全管理

- (1)健康や安全管理については引率者の責任において十分に配慮し、事故のないようにする。
特に以下の点には注意する。
 - ・事前に参加者は健康診断を受け、参加に支障がないかを確認する。また、大会前の普段の生活の中でも観察を十分に行う。
 - ・大会当日、参加者の体調が競技の参加に問題ないかを再度確認すること。
 - ・競技開始前の準備運動を各チームの責任で入念に行うこと。
- (2)大会中のケガ等については大会救急マニュアルに基づいて対応する。
- (3)健康・安全面において、審判員より競技中断の指示があった場合は、それに従わなければならない。
その後の当選手の競技への継続については、審判長の判断によるものとする。

2 駅伝の形式

- (1)各校原則として2チームまでとする。安全に大会を運営する為。
(ただし中学部生徒数が45名を超える学校は、3チームまでの参加は可能とする。)
- (2)20kmを10名の選手で走る。「リレー駅伝」の形式を原則とする。
ただし、一区間を2名以上で走ることとも可とする。その区間については個人賞の対象としない。
またその場合のチームの順位、記録については参考記録とする。(オープン参加ではない)
2チーム出場する学校のAチームは10名でチームを組むこととする。
- (3)選手は胸と背にナンバーカード(学校番号・区間を記したものの、水色地に黒文字)をつける。
※ナンバーカード・たすきは各校で用意し、たすきには学校名を明記する。
- (4)第10区選手(最終走者)は、「最終周たすき」をかける。たすきは本部で用意する。

3 伴走者について

- (1)選手が1人で走ることが難しい場合には伴走者がつくことができる。
安全面を考慮して、後方での伴走が望ましい。
- (2)伴走者は、学校名の入ったゼッケン(白地に黒文字で学校名を記入。)を胸と背につける。
- (3)たすきの受け渡しは原則として選手が行う。記録ラインでは、伴走者は選手から離れる。
ただし、受け渡しが難しい場合には、伴走者が介助してもよい。
- (4)伴走者は、選手を押したり、引いたり、過度な言葉かけ等をしてはならない。
※(過度な言葉かけとは、罵声などの生徒の人格を否定する言葉、威嚇、それらに準ずる言葉とする。その判断は走路審判員が行う)
- (5)伴走者は、1選手につき1名とする。

4 その他

- (1)途中棄権した場合は本部に連絡する。本部の許可を得て、次区間以降の出走を認める。
その場合、区間賞の対象となる。チームとしての順位対象とはならない。
- (2)競技開始から、2時間40分経過時点で最終走者へのたすきの受け渡しが完了していない場合、繰り上げスタートを行うこともある。繰り上げスタートのチームは、「黒色のたすき」をかけて走る。
- (3)9区までに最終走者が走る場合にはオープン参加となる。
オープン参加のチームの最終走者は「白色のたすき」をかけて走る。たすきは本部で用意する。
- (4)設定された日までに、電子メールでメンバー表を提出すること。女子が走る区間は赤枠で囲む。当日、選手変更がある場合は受付時に新しいメンバー表を1部提出すること。
- (5)危険な行為が見られた場合や本大会の趣旨にそぐわない場合は、審判長の判断で失格もしくは警告となる。警告2回で失格となる。